

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 141

ニホンリス

分類 げっし（ネズミ）目 リス科

大きさ：16～22cm

とくちょう：ドングリやクルミ、
マツボックリなどを食べる

見られる時期

・1年中

小鳥の森で見られる場所

・小鳥の森全域

さとう ゆな さん（5才）が描いてくれました。



2月 いきもの森予報

雪に残る印（しるし）

2月になると雪の降る日が多くなります。雪がつもった朝に園内を歩くと、森に住む動物たちの印を発見することがあります。

小鳥の森にはイノシシやホンドタヌキ、ニホンノウサギやニホンリスなど様々な動物が住んでいますが、なかなか出会うことはできません。それは「人のいない場所・人の寝ている時間」に活動しているから。ですが雪が降った日は動物たちの気配（けはい）を感じることができます。柔らかい雪の上に残った足あとを観察すると「どんな動物」が「その場所」に来たのかが分かるのです。

ホンドタヌキの足あとは肉球の形がくっきりと残ります。夜の間にはエサを探して歩き回ったようです。ニホンリスのものは前足と後ろ足がセットになった4つの足あと。また、種類までは分かりませんが、野鳥の足あとが矢印（やじるし）のようにまっすぐに続いていました。

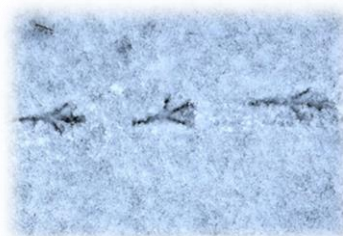
冬限定の動物たちとの出会い。ぜひ楽しんでくださいね。



ホンドタヌキ



ニホンリス



野鳥

例年よりも雪が少なく暖かい1月でした。園内では冬鳥をはじめ、たくさんの野鳥でにぎわいました。

葉が落ちてバードウォッチングしやすい冬の時期。特に去年にくらべて多く見られたのが「ヒワ」のなかま。ヒワとは「スズメ目アトリ科」の野鳥をまとめた呼び方です。くちばしが太くがっしりしています。固い木の実や種を食べるのが得意（とくい）な形です。カワラヒワやマヒワ、シメがエサ場や水場で群（む）れている様子、またウソが森の中で木の実を食べている姿を観察できました。

福島市内にある西根神社で毎年開かれる「うそかえ祭り」。木を彫（ほ）って作られる鶯鳥（うそどり）のモデルはウソ。本物と似ているでしょうか？

ヒワのなかま集合！



自然のお便り

樹皮（じゅひ）いろいろ

森の中にはたくさんの木が生えています。今は葉が落ちて木の表面（ひょうめん）が目立つ冬。この時期は樹皮（木の皮）に注目してみたいかがでしょうか。

みなさんは木を描（か）く時に何色にぬりますか？茶色が多いかもしれませんね。しかしじつは、樹皮は種類（しゅるい）によって「色」や「表面のようす」がちがいます。コナラは「白っぽい灰色」で「長めのたてスジ」。アカマツは「赤茶色」で「ゴツゴツした大きなウロコのような」。リョウブは「赤茶色」で「ツルツルではがれやすい」。

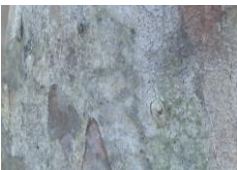
かぶれる（ひふが赤くはれたりかゆくなる）木もあるので、くわしい人がいないときはさわらず観察してくださいね。



コナラ



アカマツ



リョウブ

お知らせ

散策路一部通行止め

小鳥の森では、ふくしま森林再生事業（伐採作業、下刈り、作業道整備等）に伴い、ホオジロの小径を全面的に通行止めといたします。ご利用の方にはご迷惑をおかけしますが、安全確保のため、ご理解とご協力のほどお願いします。

期間：1月9日（火）～3月15日（金）
場所：ホオジロの小径（全域）

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2024年2月号№452 / 企画・発行：福島市小鳥の森 / NPO法人野鳥の会ふくしま

